

浜の活力再生プラン

1 地域水産業再生委員会

組織名	美波町地域水産業再生委員会
代表者名	宮本 勝

再生委員会の構成員	伊座利漁業協同組合、阿部漁業協同組合、志和岐漁業協同組合、東由岐漁業協同組合、西由岐漁業協同組合、木岐漁業協同組合、日和佐町漁業協同組合、美波町
オブザーバー	徳島県南部総合県民局

※再生委員会規約及び推進体制のわかる資料を添付すること。

対象となる地域の 範囲及び漁業の種類	<p>美波町阿部地域（阿部漁業協同組合の管内）</p> <p>阿部漁協 組合員数 131名（平成27年12月末現在）</p> <p>※以下、着業漁業種類の内訳を示す。（）内は着業経営体数を示すが、1経営体で複数の漁業種類を兼業するため、合計値は組合員数と合致しない。</p> <p>漁業種類（平成26年12月末現在）</p> <table> <tr> <td>一本釣漁業</td> <td>: 17名（17経営体）</td> </tr> <tr> <td>延縄漁業</td> <td>: 2名（2経営体）</td> </tr> <tr> <td>磯建網漁業</td> <td>: 31名（14経営体）</td> </tr> <tr> <td>小型定置網漁業</td> <td>: 22名（9経営体）</td> </tr> <tr> <td>採貝採藻漁業</td> <td>: 98名（64経営体）</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>: 4名（4経営体）</td> </tr> </table>	一本釣漁業	: 17名（17経営体）	延縄漁業	: 2名（2経営体）	磯建網漁業	: 31名（14経営体）	小型定置網漁業	: 22名（9経営体）	採貝採藻漁業	: 98名（64経営体）	その他	: 4名（4経営体）
一本釣漁業	: 17名（17経営体）												
延縄漁業	: 2名（2経営体）												
磯建網漁業	: 31名（14経営体）												
小型定置網漁業	: 22名（9経営体）												
採貝採藻漁業	: 98名（64経営体）												
その他	: 4名（4経営体）												

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状

美波町は徳島県の南東部に位置し、平成18年3月31日、日和佐町と由岐町が合併して誕生した。日和佐町と由岐町は「上灘」と呼ばれ、南東は太平洋に望み、暖かい黒潮の良好な漁場を有している。

本プランの対象となる阿部漁協は旧由岐町に位置している。旧由岐町は、海岸線に細長く面して平坦地は少なく、ほとんどが山地であることから、古くから漁業が産業及び地域経済の中心であった。阿部漁協の管内では、採貝採藻や磯建網（イセエビ刺網）等の磯根資源を利用する漁業が基幹となっており、これに一本釣漁業や延縄漁業等の漁船漁業を組み合わせで営まれている。

阿部漁協管内における生産量は概ね50～60トンで推移しているが、最近3年間は減少傾向である（図1）。沿岸漁業の生産量の減少の背景には、資源の減少もさることながら、就業者の減少や高齢化の進行による出漁日数の減少等が影響している。

一方、生産金額は増加傾向で、主力のアワビ（クロ、メガイ・マダカ）、イセエビの単

価が高いことが背景にある。阿部漁協では、関西圏の消費地市場を中心に相場状況を見ながら自社トラックによる共同出荷を行っており、このことが単価の維持に寄与している。また、阿部のアワビはその品質の良さから、出荷先の市場で古くからブランドが形成されており、これも単価の維持の一因である。

しかしながら、近年の漁獲量の低迷によって阿部漁協所有のトラックによる物流コストの高騰（単位数量あたりの流通経費負担の増大）が顕在化している。特に、単価が安い漁獲物（小型定置網漁業等で漁獲されるイワシ類、メッキ、スルメイカ等）やロットがまとまらない漁獲物（磯建網で混獲されるヨノミダイ、アイゴ等）は、阿部漁協所有トラックで出荷・販売しても流通経費負担が大きく、利益が極めて小さくなるために取り扱えない状況が生じている。そのため、これらの漁獲物は地元の産地仲買業者 1 社に集荷を依頼して販売せざるを得ず、価格も抑制されがちとなる。結果、漁業者の生産意欲の減退を招き、生産量の減少の一因ともなっている。周辺地域の漁獲物の積み合わせ等も含め、物流量を確保した効率的な共同出荷体制の構築が課題となっている。

また、原油価格の変動を背景とした燃油価格・漁業用資材価格の大幅な変動は、生産の変動とともに漁業経営の不安定性を助長する要因となっている。

今後は、豊かな磯根資源による安定的な収入をベースとしつつ、沿岸漁船漁業での収入を組み合わせ、一定の所得水準を確保することが求められている。これにより、既存漁業者の生産意欲の維持・向上、新規参入者の確保を図り、地先漁場環境の保全を図っていくことが必要である。

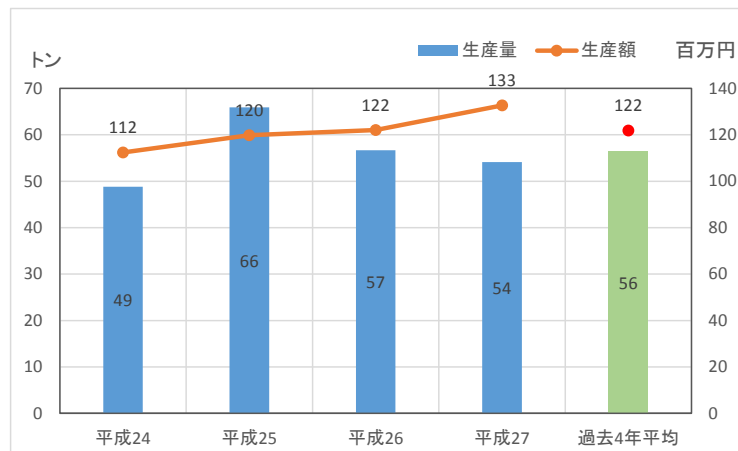


図1 阿部漁協における水揚高の推移

資料：美波町由岐支所

(2) その他の関連する現状等

●阿部漁協を含む、美波町内 7 漁協で構成される「海部上灘漁業振興会」では、アワビ稚貝やヒラメ等の種苗放流事業を実施している。

3 活性化の取組方針

(1) 基本方針

美波町由岐地区の阿部漁協管内では、漁業生産量の低迷による共同出荷の物流コストの増大や出荷先が単一となって価格がよい市場へ出荷できないこと等により、漁業経営

が圧迫され始めている。こうした状況から脱却するため、本地区では、地先磯根資源を対象とした安定的な漁業収入を基盤としつつ、資源変動に応じた沿岸漁船漁業（一本釣、延縄、小型定置網等）による漁業収入を柔軟に組み合わせることで、安定した漁業経営の実現を目指すことを基本方針とする。具体的には、以下にあげる取組を実践し、漁業収入の増大と漁業経費の削減を図り、プラン終了時点での漁業所得10%増大を目指す。

なお、次の取組の内、1-2、2、3に関する取組は、海部郡広域浜プランと連携して推進する。

1. 地先磯根資源の増大と資源管理の徹底

阿部地域では、これまでも地先磯根資源の持続的な利用を図るべく、資源管理型漁業をベースとして、種苗放流や漁場環境保全の活動を展開してきた。関係機関との協力の下、これまでの取組を継続して実施する。

1-1 磯根資源を育む漁場環境の保全の継続

1-2 アワビ種苗放流の拡大と資源管理（殻長規制、操業時間規制）の徹底

1-3 イセエビ資源管理（操業日数や網数の制限、漁獲量・漁獲サイズの規制、小型サイズの再放流）の継続

2. 合理的な共同出荷体制の構築と高品質な水産物の供給

阿部地域では、自社トラックによる共同出荷で水産物を販売してきたが、漁獲量の減少に伴い荷物の量がまとまらなくなったため、流通コストの増大や出荷先範囲の制約等の課題が生じている。よって、自車トラックを利用した日和佐町漁協漁獲物との積み合わせによる共同出荷体制を構築するとともに、将来的には海部郡内の共同出荷を行う漁協との連携による合理的な共同出荷体制を構築し、流通コストの低減や取引価格の高い市場への出荷等による価格向上を図る。

また、海部郡の12漁協による「とくしま海部水産物品質確立協議会」を核として取り組まれている活締めによる高品質化の取組を継続して技術の普及や対象魚種の拡大等に発展させ、ブランド化を推進する。加えて、磯建網漁業等での混獲魚種（例えば、タカノハダイ、ニザダイ、ベラ類、ヨノミダイ、コロダイ、オコゼ類等）に代表される未利用・低利用の鮮魚類について新たな販路を開拓する。

2-1 周辺漁協との連携による共同出荷体制の構築

2-2 高品質な水産物の供給

2-3 未利用・低利用魚の有効活用

3. 漁業後継者・担い手確保に資する取組

漁業の担い手の確保にあたっては、一定水準の所得の確保を最優先とし、基幹となる磯根資源対象漁業の振興を図る。また、地域へのUターン者等、阿部地域に縁のある人を中心に漁業への新規参入者の受入を推進する。

3-1 Uターン者等の漁業着業の促進

4. 漁業経費の削減に資する取組

漁船漁業の主要な経費である燃油の削減を図ることで漁業コストの削減を図るとともに、漁協経済事業の合理化を進め、賦課金負担等の軽減を図る。

4-1 減速航行と船底・プロペラの徹底洗浄による省燃油対策

4-2 共同出荷事業の統合による合理化の推進

4-3 漁業経営セーフティネット構築事業への加入促進

(2) 漁獲努力量の削減・維持及びその効果に関する担保措置

漁業調整規則等の公的管理の順守を徹底するとともに、漁業者による自主的な資源管理を推進する。

※プランの取組に関連する漁業調整規則や漁業調整委員会支持等について記載する。

(3) 具体的な取組内容（毎年ごとに数値目標とともに記載）

取組内容については、取組の進捗状況や得られた成果等を踏まえ必要に応じて見直すこととする。

1年目（平成29年度）

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>1. 地先磯根資源の増大と資源管理の徹底</p> <p>1-1 磯根資源を育む漁場環境の保全の継続</p> <p>阿部漁協とすべての漁業者は、県・町との連携のもとで、これまで実施してきた有害生物（ウニ類）駆除等の漁場環境保全の取組を継続する。</p> <p>1-2 アワビ種苗放流の拡大と資源管理の徹底</p> <p>この取組は、阿部漁協が所属する上灘漁業振興会は、海部郡広域浜プランとの連携によって、アワビ種苗の放流個数を増大して放流事業を継続する。</p> <p>阿部漁協と漁業者は、密漁監視の取組を引き続き実施するとともに、現行の自主的な資源管理（殻長規制：クロアワビ9.5 cm、メガイアワビ11 cm以上等）を遵守して操業する。</p> <p>1-3 イセエビ資源管理の徹底</p> <p>阿部漁協と磯建網漁業者は、従来実施してきた以下に示すイセエビ資源管理の取組を引き続き継続、徹底する。</p> <ul style="list-style-type: none">① 網数の制限② 漁獲対象サイズの規制③ 操業日数の制限 <p>2. 合理的な共同出荷体制の構築と高品質な水産物の供給</p> <p>2-1 周辺漁協との連携による共同出荷体制の構築</p> <p>阿部漁協の自社トラック共同出荷において日和佐町漁協漁獲物の積合せ出荷を実現すべく、日和佐町漁協とともに具体的な方法（集荷場所、集荷方法、集荷時間等）について検討する。</p> <p>また、海部郡広域浜プランとの連携の下、海部郡内における他の共同出荷漁協と共に、集荷場所や集荷方法、集荷施設の必要性等について検討する。</p> <p>2-2 高品質の水産物の供給</p> <p>阿部漁協の一本釣漁業者は、「とくしま海部水産物品質確立協議会」が実施するアオリイカのブランド化（ハンマー締め等による高</p>
---------------------	---

	<p>品質化) の取組に継続して参加する。</p> <p>2-3 未利用・低利用魚の有効活用</p> <p>阿部漁協は、磯建網（イセエビ刺網）で混獲される鮮魚類等、地域で漁獲される未利用・低利用魚の有効活用を進め、消費地の飲食店・ホテル等への直接販売の取組を検討する。</p> <p>3. 漁業後継者・担い手確保に資する取組</p> <p>3-1 Uターン者等の漁業着業の促進</p> <p>阿部地域へのUターン者等を主対象とし、地域のベテラン漁業者が漁業技術等を伝える研修会の開催を企画、検討する。</p> <p>以上の取組により、漁業収入を基準年より 0.3%向上させる。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>4. 漁業経費の削減に資する取組</p> <p>4-1 減速航行と船底・プロペラの徹底洗浄による省燃油対策</p> <p>漁場までの減速航行を行うとともに、船底・プロペラ等の洗浄作業を年1回実施するなど、省燃油活動を積極的に実施し、コストの削減を図る。</p> <p>4-2 漁業経営セーフティネット構築事業への加入推進</p> <p>阿部漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進し、燃油高等時の漁業経費の増大に備える。</p> <p>以上の取組により、漁業コストを基準年より 5.3%削減する。</p>
活用する支援措置等	(国)漁業経営セーフティネット構築事業、(国)競争力強化型機器等導入対策事業、(国)資源管理・漁業経営安定対策事業、(国)浜の活力再生交付金、(国)新規漁業就業者総合支援事業

2年目（平成30年度）

漁業収入向上のための取組	<p>1. 地先磯根資源の増大と資源管理の徹底</p> <p>1-1 磯根資源を育む漁場環境の保全の継続</p> <p>阿部漁協とすべての漁業者は、県・町との連携のもとで、これまで実施してきた有害生物（ウニ類）駆除等の漁場環境保全の取組を継続する。</p> <p>1-2 アワビ種苗放流の拡大と資源管理の徹底</p> <p>この取組は、阿部漁協が所属する上灘漁業振興会は、海部郡広域浜プランとの連携によって、アワビ種苗の放流個数を増大して放流事業を継続する。</p> <p>阿部漁協と漁業者は、密漁監視の取組を引き続き実施するとともに、現行の自主的な資源管理（殻長規制：クロアワビ 9.5 cm、メガイアワビ 11 cm以上等）を遵守して操業する。</p> <p>1-3 イセエビ資源管理の徹底</p> <p>阿部漁協と磯建網漁業者は、従来実施してきた以下に示すイセエ</p>
--------------	--

	<p>び資源管理の取組を引き続き継続、徹底する。</p> <p>①網数の制限 ②漁獲対象サイズの規制 ③操業日数の制限</p> <p>2. 合理的な共同出荷体制の構築と高品質な水産物の供給</p> <p>2-1 周辺漁協との連携による共同出荷体制の構築</p> <p>阿部漁協の自社トラック共同出荷における日和佐町漁協漁獲物の積合せの実現に向け、日和佐町漁協とともに具体的な方法（集荷場所、集荷方法、集荷時間等）の検討を進め、共同出荷事業計画として取りまとめる。</p> <p>また、海部郡広域浜プランとの連携の下、海部郡内における他の共同出荷漁協と共に、集荷場所や集荷方法、集荷施設整備計画等について検討する。</p> <p>2-2 高品質の水産物の供給</p> <p>阿部漁協の一本釣漁業者は、「とくしま海部水産物品質確立協議会」が実施するアオリイカのブランド化（ハンマー締め等による高品質化）に継続して参加する。</p> <p>2-3 未利用・低利用魚の有効活用</p> <p>阿部漁協は、磯建網（イセエビ刺網）で混獲される鮮魚類等、地域で漁獲される未利用・低利用魚の有効活用を進め、飲食店・ホテル等への直接販売の取組を実施する。</p> <p>3. 漁業後継者・担い手確保に資する取組</p> <p>3-1 Uターン者等の漁業着業の促進</p> <p>阿部地域へのUターン者等を主対象とし、地域のベテラン漁業者が漁業技術等を伝える研修会の試行的に開催する。</p> <p>以上の取組により、漁業収入を基準年より0.6%向上させる。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>4. 漁業経費の削減に資する取組</p> <p>4-1 減速航行と船底・プロペラの徹底洗浄による省燃油対策</p> <p>漁場までの減速航行を行うとともに、船底・プロペラ等の洗浄作業を年1回実施するなど、省燃油活動を積極的に実施し、コストの削減を図る。</p> <p>4-2 漁業経営セーフティネット構築事業への加入推進</p> <p>阿部漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進し、燃油高等時の漁業経費の増大に備える。</p> <p>以上の取組により、漁業コストを基準年より5.3%削減する。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>(国)漁業経営セーフティネット構築事業、(国)競争力強化型機器等導入対策事業、(国)資源管理・漁業経営安定対策事業、(国)浜の活力</p>

	再生交付金、(国) 新規漁業就業者総合支援事業
--	-------------------------

3年目（平成31年度）

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>1. 地先磯根資源の増大と資源管理の徹底</p> <p>1-1 磯根資源を育む漁場環境の保全の継続</p> <p>阿部漁協とすべての漁業者は、県・町との連携のもとで、これまで実施してきた有害生物（ウニ類）駆除等の漁場環境保全の取組を継続する。</p> <p>1-2 アワビ種苗放流の拡大と資源管理の徹底</p> <p>この取組は、阿部漁協が所属する上灘漁業振興会は、海部郡広域浜プランとの連携によって、アワビ種苗の放流個数を増大して放流事業を継続する。</p> <p>阿部漁協と漁業者は、密漁監視の取組を引き続き実施するとともに、現行の自主的な資源管理（殻長規制：クロアワビ9.5 cm、メガイアワビ11 cm以上等）を遵守して操業する。</p> <p>1-3 イセエビ資源管理の徹底</p> <p>阿部漁協と磯建網漁業者は、従来実施してきた以下に示すイセエビ資源管理の取組を引き続き継続、徹底する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①網数の制限 ②漁獲対象サイズの規制 ③操業日数の制限 <p>2. 合理的な共同出荷体制の構築と高品質な水産物の供給</p> <p>2-1 周辺漁協との連携による共同出荷体制の構築</p> <p>日和佐町漁協との検討で取りまとめた共同出荷事業計画に基づき、荷物の積合せ出荷を試験的に開始する。</p> <p>また、海部郡広域浜プランとの連携の下、海部郡内における他の共同出荷漁協と共に、市場統合案に関する協議を通して統合の合意を図る。</p> <p>2-2 高品質の水産物の供給</p> <p>阿部漁協の一本釣漁業者は、「とくしま海部水産物品質確立協議会」が実施するアオリイカのブランド化（ハンマー締め等による高品質化）に継続して参加する。</p> <p>2-3 未利用・低利用魚の有効活用</p> <p>阿部漁協は、磯建網（イセエビ刺網）で混獲される鮮魚類等、地域で漁獲される未利用・低利用魚の有効活用を進め、消費地の飲食店・ホテル等への直接販売の取組を継続・拡大する。</p> <p>3. 漁業後継者・担い手確保に資する取組</p> <p>3-1 Uターン者等の漁業着業の促進</p> <p>阿部地域へのUターン者等を主対象とし、地域のベテラン漁業者が漁業技術等を伝える研修会の試行的に開催する。</p>
---------------------	--

	<p>以上の取組により、漁業収入を基準年より 1.6%向上させる。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>4. 漁業経費の削減に資する取組</p> <p>4-1 減速航行と船底・プロペラの徹底洗浄による省燃油対策</p> <p>漁場までの減速航行を行うとともに、船底・プロペラ等の洗浄作業を年1回実施するなど、省燃油活動を積極的に実施し、コストの削減を図る。</p> <p>4-2 漁業経営セーフティネット構築事業への加入推進</p> <p>阿部漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進し、燃油高等時の漁業経費の増大に備える。</p> <p>以上の取組により、漁業コストを基準年より 5.3%削減する。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>(国)漁業経営セーフティネット構築事業、(国)競争力強化型機器等導入対策事業、(国)資源管理・漁業経営安定対策事業、(国)浜の活力再生交付金、(国)新規漁業就業者総合支援事業</p>

4年目（平成32年度）

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>1. 地先磯根資源の増大と資源管理の徹底</p> <p>1-1 磯根資源を育む漁場環境の保全の継続</p> <p>阿部漁協とすべての漁業者は、県・町との連携のもとで、これまで実施してきた有害生物（ウニ類）駆除等の漁場環境保全の取組を継続する。</p> <p>1-2 アワビ種苗放流の拡大と資源管理の徹底</p> <p>この取組は、阿部漁協が所属する上灘漁業振興会は、海部郡広域浜プランとの連携によって、アワビ種苗の放流個数を増大して放流事業を継続する。</p> <p>阿部漁協と漁業者は、密漁監視の取組を引き続き実施するとともに、現行の自主的な資源管理（殻長規制：クロアワビ 9.5 cm、メガイアワビ 11 cm以上等）を遵守して操業する。</p> <p>1-3 イセエビ資源管理の徹底</p> <p>阿部漁協と磯建網漁業者は、従来実施してきた以下に示すイセエビ資源管理の取組を引き続き継続、徹底する。</p> <p>①網数の制限 ②漁獲対象サイズの規制 ③操業日数の制限</p> <p>2. 合理的な共同出荷体制の構築と高品質な水産物の供給</p> <p>2-1 周辺漁協との連携による共同出荷体制の構築</p> <p>日和佐町漁協とともに実施した荷物の積合せ試験出荷について、実施過程で生じた問題点を改善しつつ継続する。</p> <p>また、海部郡広域浜プランとの連携の下、海部郡内における他の</p>
---------------------	---

	<p>共同出荷漁協と共に、共同での販売事業を試験的に開始する。</p> <p>2-2 高品質の水産物の供給 阿部漁協の一本釣漁業者は、「とくしま海部水産物品質確立協議会」が実施するアオリイカのブランド化（ハンマー締め等による高品質化）に継続して参加する。</p> <p>2-3 未利用・低利用魚の有効活用 阿部漁協は、磯建網（イセエビ刺網）で混獲される鮮魚類等、地域で漁獲される未利用・低利用魚の有効活用を進め、消費地の飲食店・ホテル等への直接販売の取組を継続・拡大する。</p> <p>3. 漁業後継者・担い手確保に資する取組</p> <p>3-1 Uターン者等の漁業着業の促進 阿部地域へのUターン者等を主対象とし、地域のベテラン漁業者が漁業技術等を伝える研修会の試行的に開催する。</p> <p>以上の取組により、漁業収入を基準年より 2.1%向上させる。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>4. 漁業経費の削減に資する取組</p> <p>4-1 減速航行と船底・プロペラの徹底洗浄による省燃油対策 漁場までの減速航行を行うとともに、船底・プロペラ等の洗浄作業を年1回実施するなど、省燃油活動を積極的に実施し、コストの削減を図る。</p> <p>4-2 漁業経営セーフティネット構築事業への加入推進 阿部漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進し、燃油高等時の漁業経費の増大に備える。</p> <p>以上の取組により、漁業コストを基準年より 5.3%削減する。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>(国)漁業経営セーフティネット構築事業、(国)競争力強化型機器等導入対策事業、(国)資源管理・漁業経営安定対策事業、(国)浜の活力再生交付金、(国)新規漁業就業者総合支援事業</p>

5年目（平成33年度）

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>1. 地先磯根資源の増大と資源管理の徹底</p> <p>1-1 磯根資源を育む漁場環境の保全の継続 阿部漁協とすべての漁業者は、県・町との連携のもとで、これまで実施してきた有害生物（ウニ類）駆除等の漁場環境保全の取組を継続する。</p> <p>1-2 アワビ種苗放流の拡大と資源管理の徹底 この取組は、阿部漁協が所属する上灘漁業振興会は、海部郡広域浜プランとの連携によって、アワビ種苗の放流個数を増大して放流事業を継続する。 阿部漁協と漁業者は、密漁監視の取組を引き続き実施するとともに</p>
----------------------------	---

	<p>に、現行の自主的な資源管理（殻長規制：クロアワビ 9.5 cm、メガイアワビ 11 cm以上等）を遵守して操業する。</p> <p>1-3 イセエビ資源管理の徹底</p> <p>阿部漁協と磯建網漁業者は、従来実施してきた以下に示すイセエビ資源管理の取組を引き続き継続、徹底する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①網数の制限 ②漁獲対象サイズの規制 ③操業日数の制限 <p>2. 合理的な共同出荷体制の構築と高品質な水産物の供給</p> <p>2-1 周辺漁協との連携による共同出荷体制の構築</p> <p>日和佐町漁協とともに阿部漁協トラックを活用した荷物の積合せ共同出荷を本格開始し、実施過程で生じた問題点を改善しつつ継続する。</p> <p>また、海部郡広域浜プランとの連携の下、海部郡内における他の共同出荷漁協と共に、本格的な出荷を開始し、課題を抽出して改善を加える。</p> <p>2-2 高品質の水産物の供給</p> <p>阿部漁協の一本釣漁業者は、「とくしま海部水産物品質確立協議会」が実施するアオリイカのブランド化（ハンマー締め等による高品質化）に継続して参加する。</p> <p>2-3 未利用・低利用魚の有効活用</p> <p>阿部漁協は、磯建網（イセエビ刺網）で混獲される鮮魚類等、地域で漁獲される未利用・低利用魚の有効活用を進め、消費地の飲食店・ホテル等への直接販売の取組を継続・拡大する。</p> <p>3. 漁業後継者・担い手確保に資する取組</p> <p>3-1 Uターン者等の漁業着業の促進</p> <p>阿部地域へのUターン者等を主対象とし、地域のベテラン漁業者が漁業技術等を伝える研修会の試行的に開催する。</p> <p>以上の取組により、漁業収入を基準年より 2.6%向上させる。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>4. 漁業経費の削減に資する取組</p> <p>4-1 減速航行と船底・プロペラの徹底洗浄による省燃油対策</p> <p>漁場までの減速航行を行うとともに、船底・プロペラ等の洗浄作業を年 1 回実施するなど、省燃油活動を積極的に実施し、コストの削減を図る。</p> <p>4-2 漁業経営セーフティネット構築事業への加入推進</p> <p>阿部漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進し、燃油高等時の漁業経費の増大に備える。</p>

	以上の取組により、漁業コストを基準年より 5.3%削減する。
活用する支援措置等	(国)漁業経営セーフティネット構築事業、(国)競争力強化型機器等導入対策事業、(国)資源管理・漁業経営安定対策事業、(国)浜の活力再生交付金、(国)新規漁業就業者総合支援事業

(4) 関係機関との連携

- ①県と町、漁業協同組合等の連携のもと、当プランにおける取組と類似した共同出荷や経済事業の統合事例、漁獲物の付加価値向上等の先進事例について研修する機会を設ける。
- ②共同出荷の積合せについては、日和佐町漁協との協議と緊密な連携の下で実施する。

4 目標

(1) 数値目標

漁業所得の向上	%以上	基準年	平成	年度	漁業所得	千円
		目標年	平成	年度	漁業所得	千円

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

--

5 関連施策

活用を予定している関連施策名と想定される内容

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関連性
資源管理・漁業経営安定対策事業 浜の活力再生交付金	資源管理の実施、漁業経営の安定化 鮮度保持施設等の整備およびブランド化の提唱
水産多面的機能発揮対策事業 新規漁業就業者総合支援事業 漁業経営セーフティネット	新規就業者、担い手の長期研修等の実施 燃油高騰対策
未定	付加価値向上、産地直送等の新規流通経路の開拓